

施策評価結果をお知らせします

市では、第五次鳥羽市総合計画で目指すまちの状態への進捗状況を確認し、よりよい市政運営につなげることができるよう、今年度から施策評価を行っています。

今年度実施した評価結果がまとまりましたのでお知らせします。

企画財政課企画経営室 電話 251227

将来像	鳥羽市がめざすまちの姿 (政策の柱)	まちづくりの目標 (政策目標)
真珠のようにきらり輝く鳥羽	1. 学びたい・働きたい・住み続けたいという思いが育つまち	1-1 【人材育成】 市民の郷土愛を育てよう 1-2 【結婚・子育て】 家族や恋人との愛を育てよう 1-3 【雇用・就業】 若者の地元で活躍したい気持ちを育てよう
	2. 鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち	2-1 【観光交流】 自然の恵みと出会う感動をわかちあおう 2-2 【産業振興】 地域資源の豊かさをわかちあおう 2-3 【歴史文化】 地域文化の奥深さをわかちあおう
	3. 自然と調和した営みが広がるまち	3-1 【環境保全】 地球にやさしい暮らしを広げよう 3-2 【自然共生】 自然をまもる気持ちや活動を広げよう 3-3 【生活環境】 鳥羽の風土にあった暮らしを広げよう
	4. 生きがいや安心をみんなでつくるまち	4-1 【保健医療】 みんなで健康な心と体をつくろう 4-2 【福祉】 みんなで生きがいに満ちた暮らしをつくろう 4-3 【安全・安心】 みんなが安心できる生活の場をつくろう
	鳥羽市がめざす行政経営の姿 (政策の柱)	まちづくりの目標 (政策目標)
	5. 無駄なく、効果の高い行政経営が進むまち	5-1 【協働】 みんなの心と力を合わせたまちづくりを進めよう 5-2 【行政経営】 効率的で心のこもった行政経営を進めよう

■真珠のようにきらり輝く鳥羽の実現のために

市では、市民のみなさんと行政が協働で鳥羽市の将来像を描いた、第五次鳥羽市総合計画によるまちづくりを進めています。

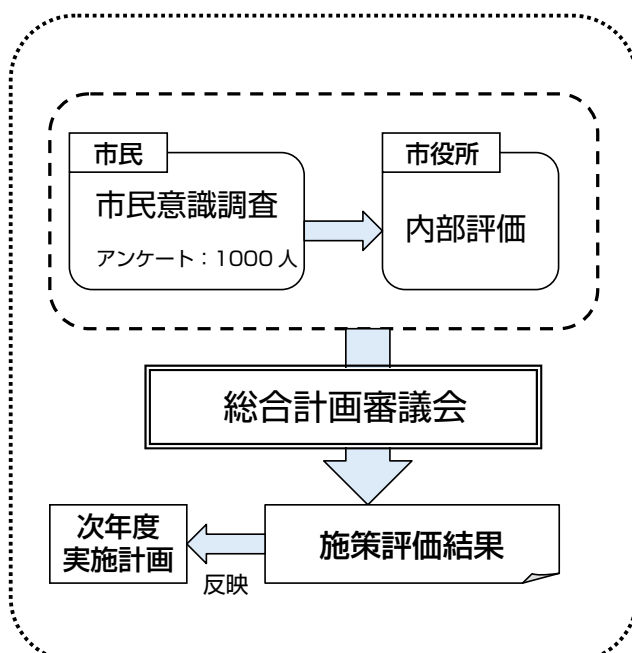
この計画では、豊かな資源とともにあるわたしたちの営みに一層磨きをかけ、まちの個性として伸ばし、その輝きを

を大きく広げていくという思いを込め、「真珠のようにきらり輝く鳥羽」を市の将来像としています。

この将来像を実現するために、平成23年度～27年度の期間中、分野ごとの施策目標を定めています。

では、計画策定から1年が経過し、めざすまちの姿にどの程度近づいているのでしょうか。

施策評価の実施イメージ (図2)



■施策評価の実施(図1・図2)

それを確認するために、本年度から施策評価を実施しました。

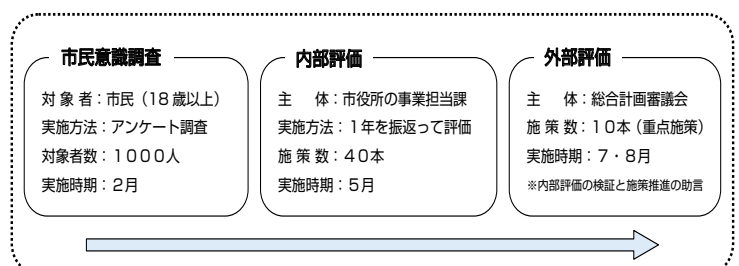
施策評価は、総合的に評価を行うために3つの手法を組み合わせて行いました。

1つ目がアンケートにより市民のみなさんに施策の進み具合をうかがう市民意識調査です。

2つ目は、市役所内の施策の担当課で実施する内部評価です。

そして、3つ目は外部の有識者15名で組織する「総合計画審議会」で評価を行う外部評価です。

施策評価の方法 (図1)



■施策評価の結果について

○市民意識調査結果（表1）

市民意識調査は、鳥羽市在住の18歳以上のかた1,000人を対象に、アンケート形式で、平成24年2月に実施しました。

この調査では、施策目標について満足度や重要度をお聞きしています。

その結果、満足度が高く、重要度も高い施策として、「消防・救急体制を充実する」などの安全安心なまちづくりに関する取り組みや、「地域ぐるみで子どもたちを育てる」などの子育て・人材育成に関わる取り組みなどが上げられました。これらは現状の方向性を継続していく取り組みであると分析しています。

また、重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いと考えられている施策としては、「若者の地元での就職や起業を支える」など雇用促進に関する取り組みのほか、環境保全を含めた水産振興に関わる取り組みなどが上げられています。これらは、今後、現在実施している事業内容を見直していくべき取り組みとしてとらえています。

○内部評価結果

内部評価は、市役所のそれぞれの施策の担当課で、前期基本計画の40施策全てについて実施しました。

平成23年度の1年間を振り返り、現在の事業の進め方で施策目標を達成できるかどうかという点をポイントに評価しています。

内部評価結果
全40施策の評価

評価	施策数
おおむね到達可	28
既存事業の改善が必要	10
新規事業展開が必要	2
到達が見込めない	0

○外部評価結果（表2）

外部評価は、まちづくりの目標を達成するために、今後の5年間で重点的に取り組んでいく施策として総合計画に位置づけた10の施策について、今年度7・8月に「総合計画審議会」により4回の会議を開催し、評価を行いました。審議会では、市長からの諮問に基づき、市民意識調査結果の分析や、担当課の施策の進め方をヒアリングしながら、審議を行いました。その結果は、去る10月5日に市長に答申されています。

外部評価答申結果（主なもの）（表2）

施策1-2-2：子どもと子育て家庭をやさしく支える
子育て環境の充実を図るための各種制度を実施しているが、十分なPRが行われていない事業もあることから、制度情報等の周知をさらに図られたい。

施策1-3-1：若者の地元での就職や起業を支える
市民にとって、満足度が非常に低い施策であるため、若者が地元で就労できるよう、具体的な制度の構築を急がれたい。
また、インターンシップについては、商工会議所などの各種団体や生徒を送り出す側の学校との連携を図られたい。

施策2-2-1：豊かな水産資源のブランド化を図る
本市の主要な産業である水産業の振興のため、漁業の多角化や水産物の高付加価値化など、漁家経営の安定を図るための施策を推進されたい。
市が進めている支援策についても現状のように獲得型（競争的資金）によって重点化することが望ましい。

施策2-2-2：農業に触れる機会をつくる
長期的に産業として成り立つよう、特産品化や産業間の連携による地産地消などの事業展開を研究されたい。
農業者だけではなく、非農家市民が農業に触れ、地産地消を拡充していくための取り組みを進められたい。

施策4-2-2：高齢者の生きがいある生活を支える
高齢者の方が住みなれた地域で集まり、支えあいや社会参画できる居場所作りを進められたい。
家族による介護については、支援体制の更なる充実を検討されたい。

施策4-3-1：災害から市民生活をまもる
防災の基本である「自分の命は自分で守る」ことの意識啓発を継続して取り組まれたい。

市民意識調査結果（表1）

【満足度順位】

満足度順施策一覧

順位	第五次鳥羽市総合計画の施策目標
1	安全で安定した水を提供する
2	健康づくりに対する意識を高める
3	消防・救急体制を充実する
4	地域ぐるみで子どもたちを育てる
5	高齢者の生きがいある生活を支える
6	資源循環型社会をつくる
7	市民の支え合いの和を広げる
8	障がい者の主体的な生活を支える
9	生活トラブルから市民をまもる
10	市民活動が行いやすい環境をつくる

【重要度順位】

重要度順施策一覧

順位	第五次鳥羽市総合計画の施策目標
1	消防・救急体制を充実する
2	安全で安定した水を提供する
3	いざという時の受診体制を整える
4	災害から市民生活をまもる
5	将来性のある企業活動・ビジネスを育てる
6	安心できる社会保障制度を運営する
7	健康づくりに対する意識を高める
8	若者の地元での就職や起業を支える
9	地域ぐるみで子どもたちを育てる
10	伊勢湾の豊かな海洋資源をまもる

【市政への反映】

市では、今回、実施された施策評価の結果を踏まえ、来年度以降の事業内容を見直していくこととしています。これからも市民のみなさんとともに「真珠のようにきらり輝く鳥羽」を実現するために、総合計画を着実に推進していきますのでよろしくお願いします。

くわしい施策評価結果については、「市ホームページ」でご覧いただけます。

 <http://www.city.toba.mie.jp/kikaku/dai5jikeikaku/sougoukeikaku.html>